

POLY-GLU 最新ニュース (2019年3月版)

2019年2月18日、TANZANIAでのPOLY-GLU浄・給水設備は、全工事を終わり、全てのプラントを、JICA立ち合いで現地政府に引き渡しました。これにより、アフリカでの給水人口1,200万人となり、ポリグルレディ、ボーイが1,100名。周辺で職を得た人は推定8,000名です。とは云え、全世界80ヶ国で普及を始めていますが、サンプル程度の受注が大半で、アフリカでは漸く採算が採れそうです。本社国際部員僅か12名では、各国を廻り普及を続ける資金も、人材も足りません。そのリスクを補う為に5年計画で、各国で優秀な人材を選び技術、ビジネス、倫理感を教育、指導育成して来ました。

2018年からこの『一番弟子』が期待通り成長して各国で活躍をはじめました。

バングラデシュのモニル博士、タンザニアのテレスフォニー君などは、私、小田の技術力を既に超越しています。モニル君は全世界を担当し、テレスフォニー君は、全アフリカを駆け廻っています。既に両名の下には『2番弟子が育ち』起業し、隣国に指導に出掛けています。

間もなく全世界でPOLY-GLUレディ、ボーイが見られるでしょう。技術は、企業、個人が独占すべきものではありません。広く公開して、多くの人の英知を集め、さらに技術力を高めて、人類社会を豊かにせねばなりません。POLY-GLUは独自のビジネス思想でSDGsに挑戦します。

◆TANZANIA国内、浄水場4ヶ所(日量150ト〜最大300ト)と給水場3ヶ所を2月18日JICA立ち合いで、全設備の運営を現地政府に引渡しました。今後POLY-GLU現地法人が、近隣地域への新たな浄水場建設、浄水技術の指導向上に当たります。また、TANZANIAでは新たに5ヶ所の浄水場が完成します。この浄水場は現地の高校生グループが、4,000ドルの資金を集めて身近にある器材で、自分たちがPOLY-GLU浄水場を造り、日量80トを浄水して2,500戸に安全な水を供給しています。

◆インドでの安全な飲料水、産業廃水処理、河川浄化POLY-GLU技術の新進出要請が多く、それに応えて4月以降現地法人を設立、取扱店網拡充を急ぎます。3月からインド各地でセミナーを連続開催します。

◆バングラデシュダッカ近郊に、ヒ素除去POLY-GLU浄・給水場(日量300ト)を建設し、“POLY-GLU”道の駅を開設します。本計画はダッカの女子高生姉妹が、POLY-GLUを使用して生活用水中の有害なヒ素を100%除去することに、成功したことからスタートしました。

我国のヒ素研究者が、達し得ない研究を高校生が見事に成功させました。

(※本実証実験には、大阪大学・ダッカ大学の指導を頂きました。

道の駅には、後続の企業の進出拠点を目的に、日本の技術、文化、各種産業の展示館も設けます)

◆手塚山学院中・高等部有志の提案を受けて、河川・湖沼・景観池の具体的浄化技術の展示と、市民の環境意識を啓発させる目的で『ワンコイン式自動浄水装置』の開発にPOLY-GLUは協力することになりました。

ワンコインで1,000Lの汚水を目の前で浄水して、透明な樋を伝い流れる風情は、周辺の住民を楽しませ、科学への関心を高めるでしょう。

昨年は追手門大手前学院チームがロスアンゼルスでの世界科学大会で、見事に優勝し、国連にも招かれました。手塚山チームも世界一を目指し、セーナ川に一号機を設置しましょう。

◆カリフォルニアの高校生が、POLY-GLUとPGAを使い山林火災時の消火剤製造に熱心です。空中実験を夏までに行うようです。

◆カナダの高校生は、原油流出時の原油回収実験を手掛けています。サンドオイル随伴水処理は既に成功しています。

◆ドイツの高校生はOB会の協力を得て、ハイチでPOLY-GLU浄水装置を建設中です。